

中学校英語において自分が表現したいことをまとまりのある英文で書くことができる指導の工夫

外国語班 阿部 夏美(中学校教諭)

生徒の現状

与えられたテーマで英作文を書く際、既習表現を用いて、自分の気持ちを表現したり深い内容の英作文を書くのが苦手

その原因は？



- テーマにふさわしい文章構成のスタイルを知らない。
- 既習の表現を忘れていたり、どういう場面で使えばいいかわからない。
- 自分の書いた文章を自分で推敲できない。

目指す生徒像

自分が表現したいことをまとまりのある英文で書くことができる

「まとまりのある英文」とは、テーマに沿った形式で自分の意見や考えが入った文章である

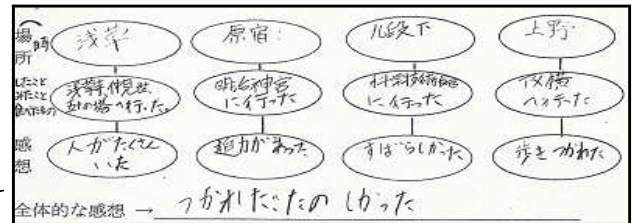
解決策

「日記文」「夏休みの予定(スピーチ文)」「観光パンフレット(様名の紹介文)」の英作文に、3つの手だてを取り入れる

① テーマに沿った文章構成を習得する。

手だて① テーマに沿った文章構成のひな形やモデル文を提示する。

- 「日記文」 → 何、場所、時、感想(イメージマップ)
- 「夏休みの予定」 → ①いつ、誰と、どこで、どんなふうに、何を(キーワード)
- ②「あいさつ」「本文」「締めくくりのあいさつ」という文章構成の提示



イメージマップを取り入れた「日記文」のワークシート

② 既習の表現集を使って、自分が伝えたい意見や考えを英文で書く。

手だて② 既習事項の中から、英作文を書く際に役に立つと思われる表現や使ってほしい表現を「Useful Expressions」として提示する。

Useful Expressions	～役に立つ表現～	※教科書P.28も参考に！
～月に	: in ~	
～日に	: on ~	
この夏	: this summer	
～する予定です	: will~ / am (is/are) going to~	
～と	: with ~	
～へ行くのは初めてです	: This is the first visit to ~.	
～を楽しみにしています	: look forward to ~ (名詞or動詞ing).	

※和英辞典をうまく活用しましょう。単語を調べるだけでなく、例文を読めると、あなたの英文にうまく使える文が見つかるかもしれません。→どんな語や例文を使ったのか、下書き用紙にメモしておきましょう。※「～する予定です」の文を必ず！文入れましょう。

「夏休みの予定」ワークシートより、Useful Expressionsの例

Hello, everyone. I like softball very much. I'm in the softball club. I play left field. During summer vacation, I'm going to play softball a lot with my teammates. We have the prefectural tournament from July 29th to 31th. If we win the championship or win the second place, we can go to Kanto tournament. I want to go to there. Thank you for listening.

「夏休みの予定」
下線部はUseful Expressionsや和英辞書を活用して書いた部分

③ 書き上がった英文を相互評価し、指摘を受けた点を訂正したり、友達の英文を参考に自分の英文を推敲したりする。

手だて③ アドバイスや評価をしやすいようチェックポイントを提示し、生徒同士による相互評価を取り入れる。

<下書き>

<ポイント> VERY GOOD PEAR

Haruna is famous for pear. So you should eat pear. I like pear. I want you to eat.

<清書>

VERY GOOD PEAR

Haruna is famous for pear. There are many pear shop. So you should eat pear. You should peel a pear. I like pear. I want you eat. "Ichikawa Nashien" is popular. There is near the "Haruna sport center".

<生徒どうしのチェック>

<チェックポイント>	チェックした人の名前→			
○全文で5文以上				
○should(～すべき)を使った文がある		○	○	○
○自分の感想・勧める気持ちを表す文がある		○	○	○

成果

- ☆ 自分が伝えたいことを、モデル文やUseful Expressionsを活用しながら回を追うごとにより多くの英文で表現できるようになった。
- ☆ 英作文に対して、意欲的に取り組む生徒が増えてきた。
- ☆ テーマ指定と具体的な状況設定で、相手を意識してできるだけ多くの情報を分かりやすい英語で書くことができるようになった。
- ☆ ペアやグループで原稿を読み合うことで、アドバイスし合ったり、ミスを直したりするなど積極的に学び合う様子が見られた。

課題

- ☆ 下位群の生徒に対しての支援の工夫 (「Useful Expressions」の活用、英文を読み合ったりアドバイスし合う場面での個別支援)
- ☆ 英作文の活動におけるALTとのTTの有効な連携
- ☆ 英作文を読み合う活動をより効果的にするための工夫 (英語科の授業の中での継続的な学び合い、教科を越えての発信力向上のための取組)

